

ひもときシート

グループD
発表

様

①課題の整理Ⅰあなた（援助者）が感じている課題

事例に上げた課題に対して、あなた自身が困っていること、負担に感じていることを具体的に書いて下さい。

・不穏になる
食事を摂らなくなる。
車椅子を自操し落ち着かなくなる。
歩行できないが歩行しようとし転倒する。

(1) 病気の影響や、飲んでいる薬の副作用について考えてみましょう。

☆認知症（近時記憶・見当識）
☆感情失禁・被害妄想
慢性胆のう炎
廃用症候群
腹部膨満感

(2) 身体的痛み、便秘、不眠、空腹などの不調による影響を考えてみましょう。

腹部膨満感や排泄困難がある
左腰部の痛み
不調になると食事量が低下する

(3) 悲しみ・怒り・寂しさなどの精神的苦痛や性格等の心理的背景による影響を考えてみましょう。

家族と一緒にいられない寂しさがある

②課題の背景や原因を整理していきましょう

思考展開エリアに記入した内容を使って、この課題の背景や原因を本人の立場から考えてみましょう。

個室のため1人でいることが寂しい
家族がいなくて寂しい
コミュニケーションが苦手、言葉をうまく伝えられない
身体が思うように動かない

③課題の整理Ⅱあなた（援助者）が考える対応方法

①あなたは本人にどんな「姿」や「状態」になってほしいですか。

泣かずに穏やかに過ごしてほしい
何を求めているかわかるよう要望を伝えられるようになってほしい

②そのために、当面どのようなことに取り組んでいこうと考えていますか？あるいは、取り組んでいますか。

普段の生活で細かな変化（表情や言葉）に注意したり普段からよく話を聞く
穏やかに過ごせる環境を作る
関わりを多く持つことでご本人の気持ちを知るようにしたり信頼関係を強くする。

(4) 音・光・味・におい・寒暖等の5感への刺激や、苦痛を与えていそうな環境について、考えてみましょう。

個室のような造りなので・・・音が静か・手前の部屋なので日光が少ない

(6) 住まい・器具・物品等の物的環境により生じる居心地の悪さや影響について

個室なので孤独や不安を感じる（旧二の丸の4人部屋では不穏になることはなかった）
環境の変化

④課題に関連しそうな本人の言葉や行動を書き出してみましょう

あなたが困っている場面（Aに記載した内容）で、本人が口にしてきた言葉、表情やしぐさ、行動等をありのままに書いてください。

「帰る」「行かないと」と多動になる
「どうすればいいんだろう」と感情的に泣く

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティ（活動）とのズレについて考えてみましょう。

他のご利用者と体操に参加
行事やレクに参加して楽しそうにしている
参加中は寂しさがないのか不安になる事はない
行事や体操はほぼ参加でいっているのでズレは感じられない

(5) 家族や援助者など、周囲の人のかわり方や態度による影響を考えてみましょう。

・夫は10年前に亡くなっている
長男夫婦と3人暮らし
月に1回程の面会があり面会の度に涙を流し喜ばれています
・普段は自立度が高く目立ったBPSDがないので関りが少ない

(8) 生活歴・習慣・なじみのある暮らし方と現状とのズレについて考えてみましょう。

約40年間農業をやり夫が亡くなってから10年ほど1人で野菜作りをしていた。
近所との交流は苦手な様子（ここでの生活を見ると自分からの働きかけが苦手なだけで交流は嫌いな様子）

⑤「A課題の整理Ⅰ」に書いた課題を本人の立場から考えてみましょう

「D課題の背景や原因の整理」を踏まえて、あなたが困っている場面で、本人自身の「困り事」「悩み」「求めていること」は、どのようなことだと思いますか。

もよおしてきても身体が動かないのですぐに動けない助けてほしい（特に浣腸時）
近くに誰かいてほしい

⑥本人にとっての課題解決に向けてできそうなことをいくつか書いてみましょう

このワークシートを通じて気付いた本人の気持ちにそって⑦今できそうなことや⑧試せそうなこと⑨再度の事実確認が必要なことをいくつか書いてみましょう。

⑦行事やレクにお誘いし気分転換を図る声を掛ける。簡単に分かりやすい言葉で思いを引き出す。
関わる機会を増やす
浣腸時は本人の排泄希望にすぐ対応できるようにする
⑧居室に写真や大切にしていた物を置いて